

勤務医LETTER

発行 大阪府保険医協会 <http://www.oh-kinmui.jp/> E-mail web@oh-kinmui.jp
〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 ☎06-6568-7721(代) FAX06-6568-2389

勤務医フォーラム

各種共済制度のお申し込みや、開業についてのご相談、ご意見など、ぜひお寄せください。

<http://www.oh-kinmui.jp/>



あの「医師過剰論」はなにだったのだろう?

担当副理事長 川崎 美榮子



日本の医師養成に関する旧厚生省の政策は1970年に人口10万人あたり150人確保を目標に医学部の定員が増やされ、一県一医大構想が推進され1984年には目標に達した。1990年からは逆に政策は10%定員削減に変わり、削減をし

ない公立大学が非難されたりした。「医師過剰」が大きく喧伝され、ドイツのように医師定年制や定数制が必要と厚生労働省でも検討した。それが今日、産婦人科医、麻酔医、小児科医をはじめとする医師の不足が各地で深刻

な問題となっている。お産のできない離島、ひとり体制の産婦人科で献身的に診療したあげく手術関連死で逮捕された医師、小児救急のあけくれで自死に至った医師などなど、これらはまったく他人事ではない。

足りないのは勤務医で開業医は余っているという説がある。果たしてそうだろうか? 手元に資料がある。2002年の人口10万人対の医師数は206人、OECDの平均は290人であるからまだ十分に少ない。人口1000人あたりの医師数を2003年で諸外国と比較すると日本は2.0、イタリア4.1、フランス3.4、アメリカ2.3、イギリス2.2、OECD平均は2.9である。もう一つ、医師は都会に偏在するからいけないのだという説がある。都道府県別で医師数を見ると、九州、四国が

10万人あたりの人数が多く、もっとも多いのは徳島県で人口10万人対約270である。そして全国どこでもOECD平均の290を上回るところはない。勤務医の待遇の悪さ、働きにくさは最大の要素ではあるが、これだけ短期間に国の政策が動くのはしっかりした考察が存在しなかったことを露呈したと言えよう。医師のなかに最近、論客がどんどん現れて来ている。皆さんも見極めてしっかり発言して欲しい。保険医協会もその声をお届けするお手伝いをしたいと考えている。



男性更年期障害の最近の知見

総合医療センター医務監
大阪市立十三市民病院 泌尿器科部長

安本 亮二

女性ホルモンが低下すると生じる女性の更年期があるように、男性にも更年期の存在が考えられるようになってきた。男性ホルモンの低下に伴う自覚症状は女性ほど強くはでないと言われてきたが、「はらたいらさん」が男性更年期障害の精神・心理症状で悩みその苦勞を出版され、メディアでもその特集が組まれ、社会的関心が高まりつつある。国際学会の一つであるThe international society for the study of the aging male (ISSAM)では、「加齢に伴う男性ホルモンの低下にもとづいた生化学的な症候群」を男性更年期障害と定義され、partial androgen deficiency in aging male (PADAM)とも称されている。その成因には男性ホルモンの低下以外に、社会的ストレスや肉体的・精神的加齢変化などがあげられる。

現在、この診断には質問用紙と男性ホルモンtestosterone(T)の採血で行われている。このうち、質問用紙としては、Heinemannらが提唱しているAging male symptom scoreを用いて診断されている。質問表の内容は、抑うつや不安感などの精神・心理症状、発汗や筋力低下などの身体症状、勃起障害や射精感の欠如などの性機能に関連する症状がある。それらの項目は計17項目に分けられ、27点以上なら何らかの男性更年期障害を、50点以上なら重症な男性更年期障害と考えられ

ている。なお、うつ症状の把握にはこれらの質問用紙以外に、self-rating depression scale (SDS)を併せて行う施設もある。また、勃起機能の評価のため international index of erectile dysfunction (IIEF5)をも併せて行うのが一般的である。

質問表以外に、血液検査として男性ホルモンの測定、特にfreeTやこれとアルブミン結合型Tをあわせてbioavailable T(BT)の測定が行われる。このうち、良く使用されているのがfreeT値で、この基準値は、50歳代では6.0pg/ml以下、60歳代では5.2pg/ml以下と変更されている。治療開始のための基準値はまだ統一されていないが、聖マリアンナ医科大学の岩本らは総T値が2.7mg/ml、freeT値が9.3pg/ml未満をhypogonadism状態とし、このような症例にホルモン補充治療が行われている。

男性ホルモンを補充する治療剤には、経口剤ではなく筋肉注射剤が一般に使用されている。そのスケジュールとしてエンアルモンデポー 125mgまたは250mgを週2ないし4週ごとに筋肉内注射する。このホルモン補充治療の成績として、松田らは総T値が317ng/dl未満の症例では、約70%に有効であったと報告している。私も男性更年期症状で非常に日常生活に問題を来した50歳男性に2週間ごとホルモン補充療法を行い症状が画的に改善した例を経験している。すべての症例はホルモン補充治療で軽快や治癒するのではないが、まずホルモン治療を行ってみて症状の改善があれば治療の継続を、なければ更年期症状に紛れ込んだうつ病も考慮して精神科や心療内科などに治療を依頼するのが良いと考えている。最近、

表1: 高齢男性の男性ホルモン不足による臨床症状とホルモン補充治療による効果 (↑改善・増加, ↓減少・低下)

自覚症状	所見
減少するもの	減少するもの
・筋力や耐久力↓	・筋量および筋力
・仕事量や運動量↓	・恥毛および腋毛
・恥毛および腋毛↓	・精巣サイズ
・身体能力↓	
・性的関心および性欲↓	増加するもの
・幸福感、生活の愉しみ↓	・内臓脂肪↓
認められるもの	認められるもの
・身長短縮、骨折歴↑	・低骨塩量(骨粗鬆症)↑
・疲労感、消耗感	・脊椎または大腿骨骨折↓
・イライラ感、うつ気分	・うつ気分
・睡眠障害・女性化乳房	・正球性、正色素性貧血↓
・発汗、ほてり	
認知機能↑	
狭心症・心筋虚血イベント↓	
総&LDLコレステロール↓	

中野は表1に示すように、高齢男性の男性ホルモン不足に伴う臨床症状以外に、メタボリックシンドロームに関する内臓脂肪量との関係にも注目し、男性更年期を総合的にみていくことが重要であると述べている。ホルモン補充療法の副作用としては多血症、エストジオール高値、肝障害、女性化乳房などがある。また、男性ホルモンに影響をうける前立腺の状態や癌の有無をPSA値測定しながら調べていく必要もある。

参考書・文献

- 1) 特集: 男性更年期障害、その関連領域も含めたアプローチ。モダンフィジシャン Vol.24 (No.3) 新興医学出版、2004。
- 2) 性に悩む男たちへ。EDと不妊治療の最前線、都健二郎ら編、昭和堂、2004。
- 3) 特集: 抗加齢療法のめざすもの。臨床と研究。80巻(10号)、2003。
- 4) 松田公志ら: 男性更年期障害の診断と治療。泌尿器科外科 16: 831、2003。
- 5) 男の更年期、よくわかる診断と治療 奥山明彦編、昭和堂、2006
- 6) 中野忠澄: Modern physician 24: 343、2004。



開業して思うこと



「立地と資金は厳しく 入念な計画をもって」

豊中市 婦人科・内科 吉村 猛

医療、特に医師に対しての風当たりがきつくなっている昨今ですが、勤務医の先生方で病院の環境がこんなに厳しいなら「開業でもしようか」「開業しかないな」と思っている先生はいらっしゃいませんか？ 開業の計画があるのなら、できるだけ慎重に計画を進めてください。開業後、数年を経

ずして勤務医にもどった先生方がいらっしゃいます。また、勤務医よりも過酷な労働条件で銀行に働かされている先生方もいらっしゃいます。

しかし、かくいう、わたしも産婦人科の勤務医の労働条件があまりにも厳しいため、開業を考えた「でもしか」開業医です。勤務医時

代は、病院にいる時間が生活の大部分を占めていました。開業後は、拘束時間が減った分、当然ですが、経済面では、勤務医時代よりも収入は低下しましたが、自宅にいる余裕の時間が増えたため、精神的には収入の低下を補って余りあるものがあります。今は、自分のしたいことができるという充実した毎日です。わたしの場合、自分の時間がほしいという最大の目的を達成できたため、開業は「やってよかった」という結果になりましたが、それでも最初の1-2年は預金通帳とのにらめっこで

倒産の危険と背中あわせでした。

今後の開業は、「でもしか」で計画もなく衝動的に開業の道を選んで食べていけるほど甘くはないでしょう。計画段階での撤退は診療所を開いてからの失敗より傷は浅いので、立地と資金、借入金、収入のバランスシートは少し厳しく見積もって入念に計画することが大切です。これからの時代、医師にとっては、勤務医でも厳しく、開業医でも大変な時代です。しかし、どのような立場でも医師としての誇りとやりがいは失わないでください。

伝 message 言 board 板

求人 / 病院 / 診療所

求 内科医 (呼吸器・神経内科・循環器・一般内科) / 委細面談 / 電話連絡 鶴見区鶴見3-6 / コープおおさか病院 / 問合せ・06-6914-1100 (藤田)

求 内科・外科常勤医・当直非常勤医 / 委細面談 / 地下鉄谷町線「太子橋今市駅」 / 西徒歩5分 / 大阪市旭区大宮5-4-24 / 藤立病院 / 問合せ・06-6955-1226 (事務長)

求 内科・外科常勤医・非常勤医 / 委細面談 / 地下鉄谷町線「千林大宮駅」 / 西徒歩12分 / 大阪市旭区中宮1-12-21 / つばさ診療所 / 問合せ・06-6955-1226 (事務長)

求 内科・小児科常勤・非常勤医 / 委細面談 / 環状線「大正駅」 / バス12分 / 大阪市大正区小林西2-3-14 / 大正民主診療所 / 問合せ・06-

6554-1383 (釘宮)

求 内科・小児科・非常勤医 / 午後5時半~7時半の夜診 / 委細面談 / 近鉄大阪線「北田辺駅」 / 徒歩南へ5分 / 問合せ・06-6621-7535 (春田)

無料相談コーナー

専門家が応えます
事前予約制 (先着順)

法律相談 (弁護士)
毎月第1月曜日
午後2時~4時

税務相談 (税理士)
毎月第3水曜日
午後2時~5時

建築相談 (協同組合)
随時 相談時間30分未満

雇用相談 (社労士)
毎月第3木曜日
午後2時~4時

予 告

11月に「勤務医の労働環境実態と意識に関する調査」を実施します。ぜひご協力をお願い致します

勤務医師の先生方に協力をいただき第2弾・「勤務医の労働環境実態調査と意識に関する調査」を実施します。昨年と同様ご協力いただけますよう予定をよろしくお願い致します。

アンケート実施要領

調査票の送付時期 / 2006年11月
アンケート実施期間 / 2006年11月 (2週間)
対象 / 保険医協会勤務医会員と未入会員
送付・回収方法 / 郵送
勤務医ホームページにも掲載
個人情報保護の法令にもとづき匿名とします。

研修医の準会員制度を発足

保険医賠償責任保険 1事故1億円の保証で保険料と会費をあわせて約5万8千円/年

将来日本の医療を担う研修医の身分は、新卒後研修制度が実施され一定の改善は進んだようですが、研修医の身分保障など不十分な課題も多々あります。

保険医協会では、研修医の身近な問題を勤務医部でも議論していますが、研修医がかかえる、いろいろな不安や課題についても意見をくみ上げることや、研修時の医療事故との遭遇の際の保険加入「保険医賠償責任保険」などを目的に、研修医会員 (準会員) 制度を2005年10月に発足しました。会費は年12,000円 (入会金なし、1月から12月の1年分を原則一括払い。年途中の場合は月割) となります。研修医会員の方には月3回発行する「大阪保険医新聞」と月刊誌「大阪保険医雑誌」をご送付いたします。また、各種相談にも応じます。

つきましては、会員の皆様のご息や知人の方に本制度をお知らせいただき、未来の保険医協会を支える若き保険医の先生方にご入会のご案内をしていただければ幸いです。

会員の先生にお願い

ご自宅住所・勤務先の変更は協会組織部までご連絡ください

ご自宅の住所変更、または勤務先の変更が生じた場合は、早急に協会までお知らせください。

また、ご開業予定の先生は、その旨勤務医部までご連絡ください。

電話 06-6568-7721
FAX 06-6568-2389
E-mail web@oh-kinmui.jp

保険医年金 2007年1月1日 制度発足

現在、全国で6万人以上が加入し、積立総額は1兆1千億円を超えています。また、生命保険会社4社 (三井生命、明治安田生命、富国生命、ソニー生命) に委託してリスクを分散し、制度保全に努めています。

会員の老後・将来設計を支えます!

10月25日まで! 予定利率1.256%

(短期のご加入では積立金が掛金を若干下回ります)

自在性が魅力!

- ① 急な出費にも1口単位で解約可能。
- ② 掛金払い込みが困難なときに掛金中断、余裕ができたときに掛金再開。いつでも受付。
- ③ 年金受給時には10年・15年確定、15年・20年逓増年金から選択。
- ④ 万一の時はご遺族に全額給付。

【ご加入例】

65歳から10年確定で受給の場合

35歳 月払 3口 (3万円)	加入	受給額 (月々)	約11万円
		受け取り総額	約1,328万円
		◎掛金総額	1,080万円

加入資格 満74歳までの協会会員で、加入日現在、健康で正常に就業されている方。

加入口数 月払: 1口 1万円 通算30口まで
一時払: 1口 50万円 毎回40口まで

給付金試算例 (月払い10口・10万円を積み立てた場合)

加入期間	掛金総額 (円)	脱退一時金額 (円)	10年確定年金 (月額: 円)	20年逓増型確定年金 (月額: 円)
10年	12,000,000	12,438,000	109,050	48,070
15年	18,000,000	19,219,000	168,490	74,270
20年	24,000,000	26,403,000	231,470	102,040
25年	30,000,000	34,016,000	298,220	131,460